

# 防災・復興に男女共同参画の視点を 基調講演と稲村和美市長対談 「これからの地域防災活動」

日本各地で頻発する災害。やがてやってくるといわれている南海トラフ巨大地震。

防災・復興に男女共同参画の視点が必要です。

浅野 幸子さんによる基調講演「防災・復興に男女共同参画の視点を」と、ボランティア元年と言われた 22 年前の阪神・淡路大震災時に学生ボランティアで活動し、今は、減災と男女共同参画研修推進センター共同代表と尼崎市長として活躍する女性二人の対談は必見です。

## 2017 年 7 月 2 日 (日) 13:30~15:30

**講師** 浅野 幸子 減災と男女共同参画研修推進センター共同代表  
稲村 和美 尼崎市長

### プロフィール

#### 浅野 幸子

#### 減災と男女共同参画研修推進センター共同代表

阪神・淡路大震災で学生ボランティアとして活動後、ボランティア団体スタッフとなり、在宅避難者・仮設住宅・全焼地域の支援などに 4 年間従事。その後も市民団体に働きながら法政大学大学院社会科学科修士課程修了。2011 年 6 月に発足した東日本大震災女性支援ネットワークの活動に参加し現在に至る。国の「避難所運営ガイドライン」(2016)、「男女共同参画の視点からの防災・復興の取組指針」(2013)等の策定にも関わる。主な分野は地域防災。

#### 稲村 和美

#### 尼崎市長

昭和 47 年生まれ。神戸大学大学院法学研究科修士課程修了。阪神・淡路大震災での避難所ボランティアが原体験となり、「神戸大学総合ボランティアセンター」設立、初代代表。平成 10 年より神栄石野証券(現 SMBC フレンド証券)株式会社に入社。平成 15 年より兵庫県議会議員を 2 期務め、平成 22 年 12 月より尼崎市長(現在 2 期目)。夫と娘との 3 人暮らし。モットーは「まず自分から！」。

- 会場 尼崎市女性センター・トレピエ
- 参加費 無料
- 対象と定員 テーマに関心のある方 60 人  
※手話通訳・要約筆記が必要な人は、申し込みの際にお知らせください。(締切り 6 月 23 日)
- 一時保育 あり・無料 1 歳以上未就学児 12 人・要予約
- お申込み 6 月 6 日(火)午前 9 時から、電話、来館、FAX (チラシ裏面 申込用紙)で  
女性センターまで TEL 06-6436-6331  
FAX 06-6436-5757

毎年 6 月 23 日から 29 日までの  
1 週間は「男女共同参画週間」です  
**平成 29 年度キャッチフレーズ**  
男で<sup>まる</sup>○、女で<sup>まる</sup>○、共同作業で<sup>にじゅうまる</sup>◎。

★★★

#### 男女共同参画週間ギャラリー展

阪神・淡路大震災やジェーン台風といった  
尼崎市の災害記録写真展も実施!  
【6 月 27 日(火)~7 月 2 日(日)】  
トレピエ 1 階ギャラリーで開催します

協力 尼崎市危機管理安全局災害対策課

尼崎市女性センター・トレピエ 男女共同参画週間事業「防災・復興に男女共同参画の視点を」

開催日 7月2日(日)13:30~15:30

参加申込み書 尼崎市女性センター FAX 06-6436-5757

フリガナ			年代	歳代
お名前				
お住まい	・尼崎市                      ・その他(                      県・府                      市)			
TEL		FAX		
所属				
※手話通訳・要約筆記をご希望の方は○を付けてください。(締切り 6月23日(金)まで) (              )手話通訳              (              )要約筆記				
★一時保育 申込み(1歳以上未就学児)				
フリガナ			年齢	歳              カ月
お名前				
フリガナ			年齢	歳              カ月
お名前				
※ここに記入された個人情報は本講座の事務以外に使用せず、講座終了後はすみやかに破棄します。				

■お問い合わせ・会場 尼崎市女性センター・トレピエ

〒661-0033 尼崎市南武庫之荘3丁目36-1

Tel 06-6436-6331 Fax 06-6436-5757

●阪急電車武庫之荘駅南出口南へ200m交差点

「女性センター前」の角

●阪神バス15、43、43-2、47、47-2、49番

「北図書館前」から北へ80m

\* 駐車場はありません。公共交通機関をお使いください。

\* 女性センターは、全館禁煙です。

